


活動名		ボッチャ体験			
概要	○ボッチャを楽しみながら、誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを体感する。				
ねらい	○ボッチャ（障がい者スポーツ）について知る。 ○誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを体感する。				
関連教科等	体育・総合・道徳				
指導形態	①自主活動で実施，②職員は活動の説明のみ行う， ③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	いつでも	対象	低学年～
場所	体育館 第1・2研修室	人数	～40人	所要時間	1.5～2時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	ボッチャ 審判セット ボッチャ専用シート 投球補助具（ランプ）		動きやすい服装，体育館シューズ		
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数，班の数，活動の進め方		○コートの広さについて緩和すれば、第2ホールや第5研修室でも可能		
活動の説明	○「障がい」についてや、誰もが安心・安全に楽しむことについて考える。 ○ルールや、道具の扱い方について説明する。		○技術の習得状況や、ゲームの進行状況によって、ゲームの難易度を調整してもよい。		
展開	ボッチャのルール ①ジャックボールを投げる ②ジャックボールを投げた方がカラーボールを投げる ③もう一方のカラーボールを投げる ④ジャックボールから遠いカラーボールの方が投げる ⑤各6球のカラーボールを投げ終わったら点数計算		○スローイングボックスの数，投げる場所は実態に応じて決める。		
まとめ	○活動中に感じたことや感想などを自由に話し合う。 ○「だれもが安心・安全に楽しむ」ことについて改めて考える。 ○みんなで道具の片付けや会場の掃除をする。				
評価	○ボッチャ（障がい者スポーツ）について知ることができたか。 ○誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを感じることができたか。				
発展	○よりよい学びにつながるよう「だれもが安心・安全に楽しむ」ためのルールや活動内容について考えたり，臨機応変に変更したりする。 ○実際に普段から障がい者スポーツをされている方と交流する。				